

miratap

洗面化粧台

エルフォルム

組立設置説明書 02-LFM02S-02

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



壁に不陸がある場合は、必ず壁を施工し
なおしてください。



電気工事・給排水工事は、関連する法令・
規定に従って、必ず「有資格者」が行っ
てください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。



ワークトップの据付は、壁面の木枠の位
置や強度が十分であることを確認して設
置説明書通り正しく行ってください。



組込まれる電気製品・水栓などについて
は、各説明書および本体の表示事項を守
り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



ワークトップにぶら下がったり、乗った
りしないでください。
破損やケガをするおそれがあります。



注意

「傷害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



凍結が予想される際は、水栓から少量の
水を出したままにしてください。
凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産
損害発生のおそれがあります。詳細については
水栓の取扱説明書をご覧ください。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・
ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりし
ないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス
などの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。
保管の場所や方法に十分注意してください。



化粧品の使用について、毛染液、マニキュ
ア液、除光液などがついた場合には、必
ず拭き取ってください。
変色・変形・破損の原因となります。



水栓を全開吐水しますと水はねで、周囲
が濡れる場合があります。
水量が多い場合は止水栓を調整してください。



ワークトップに規定重量以上の物を置か
ないでください。
商品の歪み・破損・落下の原因になることがあ
ります。



水栓から湯水を出しっぱなしにしないで
ください。
湯水があふれて大きな損害になる場合があります。



湿度が高い時期に氷や井戸水をためて放
置しないでください。
結露し、洗面カウンターを傷める原因となります。



排水トラップに無理な力や衝撃を与えな
いでください。



火のついた物（タバコ、マッチなど）を
置いたり近づけたりしないでください。
こげあががつくおそれがあります。



ヘアピン、カミソリの刃などを放置しな
いでください。
サビが付着して取れなくなる場合があります。



洗面ボウルが冷えているときに直接熱湯
をかけないでください。
急激な温度変化でボウルが割れることがありま
す。必ず水をためてから熱湯を注いでください。



金属たわしなどや粒子の粗いクレンザー、
金属磨き剤などを使用しないでください。
細かいキズが付き、光沢がそこなわれるおそれ
があります。



塩ビ系ゴム製品を放置しないでください。
輪ゴム、ゴムペラなどを長時間放置すると変色
のおそれがあります。特に人工大理石の場合は
ご注意ください。



混合水栓をご使用の際は、必ず水から出
してください。
やけどをするおそれがあります。



排水口に直接熱湯を流さないでください。
破損や水漏れのおそれがあります。



給水給湯管の接続時に湯水を逆に配管し
ないでください。
火傷やケガをするおそれがあります。



横引管が逆勾配にならないように取付け
てください。
排水能力が悪くなります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結
防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれ
があります。



水道工事などは貴都市の条例に基づいて
行ってください。



水道工事後は必ず、給水給湯を行い、配
管接続部および給排水各部の水漏れがな
いことを確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。



排水器具・排水管の取付け、および給排
水管の接続部分のシールは確実に行って
ください。



水栓には、専用の取扱説明書が付属して
おります。必ずお読みにになり使用上のご
注意やメンテナンスを守り、正しくお使い
ください。



天板やボウルに硬いものを落とさないで
ください。
天板、ボウルが割れたり、破片でケガをするお
それがあります。



据付施工・調整時には必ず保護手袋を着
用してください。
ケガをするおそれがあります。



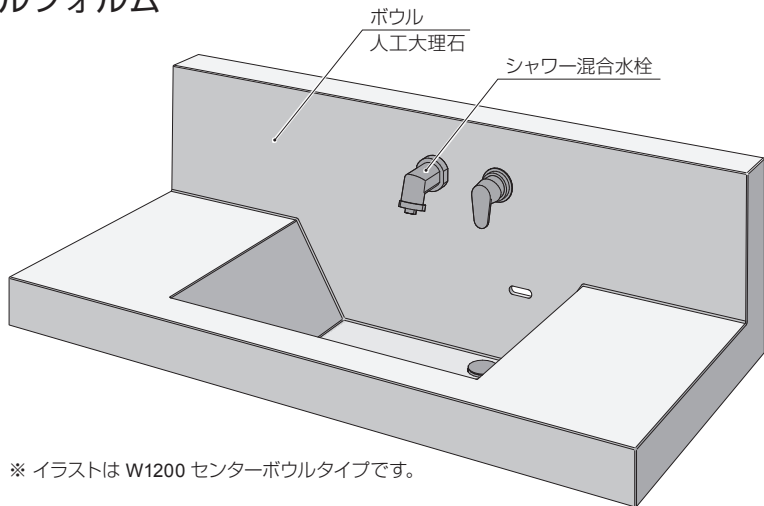
直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接
当たる場所に設置しないでください。
紫外線によりボウルが変色・退色するおそれ
があります。



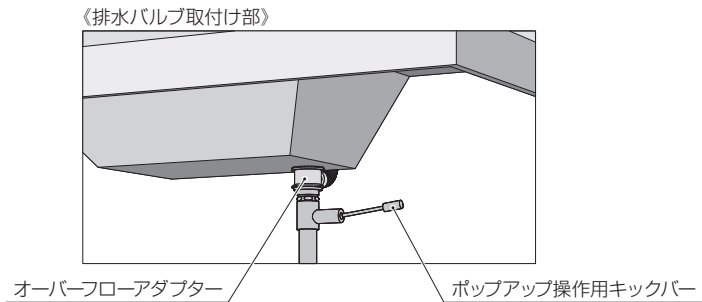
組立設置完了後は、がたつきやゆりみの
ないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。

1 各部の名称

◎エルフォルム



※ イラストは W1200 センターボウルタイプです。



■ 耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。
・ワークトップ 30kg まで

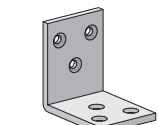
■ 付属品



□ アンカーボルトセット (4 セット)

- ・六角ナット
- ・スプリングワッシャー
- ・丸座
- ・スペーサー用金具
- ・M10 アンカーボルト
- ・樹脂アンカープラグ

※ コンクリート下地の場合は、樹脂アンカー
プラグを使用してください。



□ L 字金具セット

- ・L 字金具 : 2 個
- ・取付ネジ (皿タッピングネジ M3.5 × 12mm) : 6 本
- ・取付ネジ (皿タッピングネジ M3.5 × 50mm) : 6 本

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず 2 人以上で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- ※ 設置までの保管は平置きにしてください。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性
にも影響します。
- 取付用下地の位置および寸法（縦胴縁 45 × 65mm + 普通合板 t 30mm 以上）が指定
通りに使用されていることを確認してから取付けてください。
※ 硬質石膏ボードに取付下地が入る場合は、12.5mm 以下の硬質石膏ボードをご使用
ください。
- 必要な給水給湯管・排水管・電気配線の位置および接続方法。

3 下地補強について

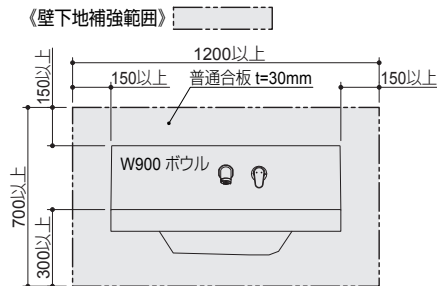
● 取付下地（建築工事）

【W900 ボウルの場合】

W1200 × H700 以上の取付下地

※ 両端壁設置の場合は

W900 × H700 以上の取付下地

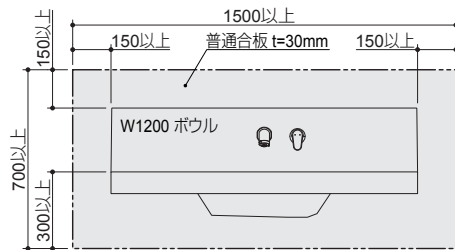


【W1200 ボウルの場合】

W1500 × H700 以上の取付下地

※ 両端壁設置の場合は

W1200 × H700 以上の取付下地



！ ラワン合板などの硬い材質の普通合板 t30mm 以上を壁面貼りしてください。
(現場の状況により、十分な取付強度が得られるように取付下地を施してください)

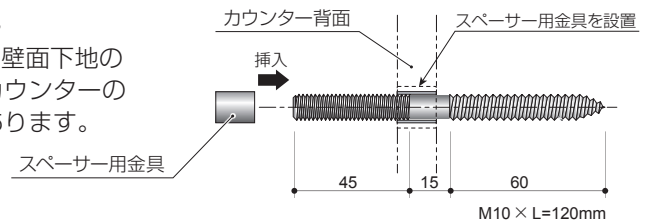
4 設置手順

1. シャワー水栓・洗面カウンターの取付け

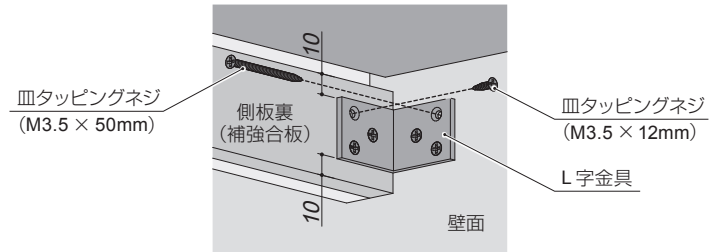
- 1 カウンター設置前にシャワー水栓をカウンターに取付けてください。
※ シャワー水栓の取付方法は水栓に付属の施工説明書を参照してください。
- 2 「**6 給排水位置・アンカーボルト取付位置**」に記載のアンカーボルト取付位置に従って、壁面に墨出ししてください。
- 3 アンカーボルトを壁面に固定してください。
※ コンクリート下地の場合は、付属の樹脂アンカープラグを使用してください。
※ アンカーボルトが壁内の配線を傷つけないようご注意ください。
※ 固定後、アンカーボルトの水平を確認してください。
- 4 カウンター本体を傷つけないよう、壁面に向かってスライドさせながらアンカー用長穴に通してください。

- 5 アンカーボルトにスペーサー、スプリングワッシャー、六角ナットの順に取付け、本締めしてください。

※ 過度な締め付けは壁面下地のボルト抜けや、カウンターの破損する場合があります。



- 6 付属の L 字金具を皿タッピングネジ (M3.5 × 12mm) で側面裏側の補強合板に固定し、皿タッピングネジ (M3.5 × 50mm) で壁面に固定してください。



2. 給排水器具の取付け

3. カウンターの防水処理

カウンターと壁との取合い部にコーキングを塗布してください。

！ 施工は必ず 2 人以上で行ってください。けがや製品の破損に繋がるおそれがあります。

5 設置後の調整・確認

《各部の調整》

- 設置完了後は、本体のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
- シャワーホースと排水管が干渉しないように、銅管を軽く曲げて調整してください。

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

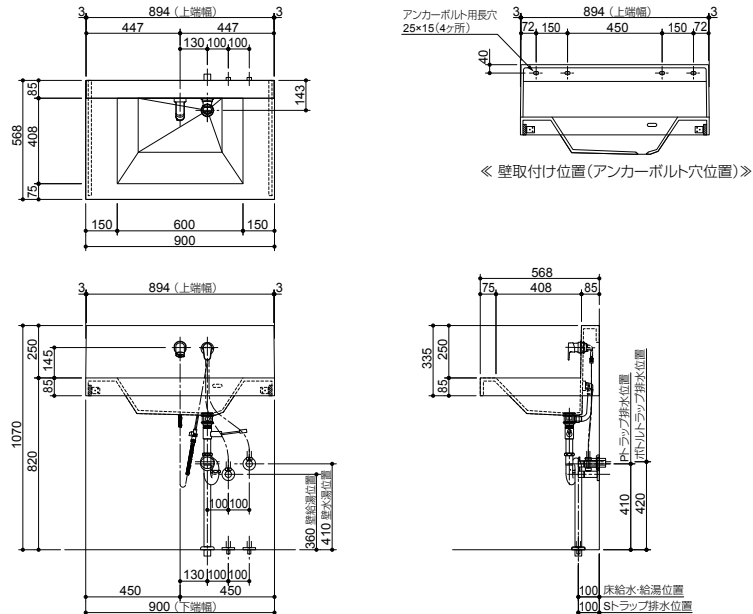
- 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
- 必ずボウルと排水器具の接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。
- オーバーフローアダプター内側の開口と排水バルブ内側の開口が重なっていることを確認してください。

● 設置後のクリーニング

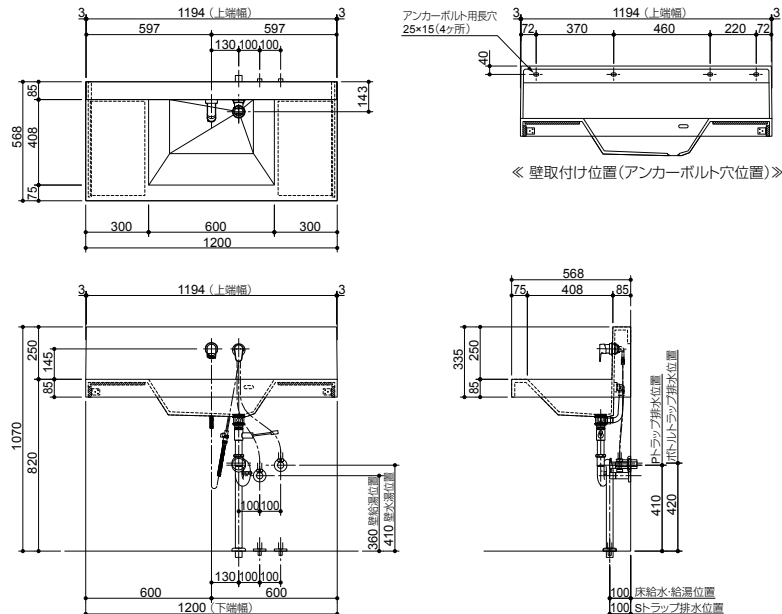
- 本体の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

6 給排水位置・アンカーボルト取付位置

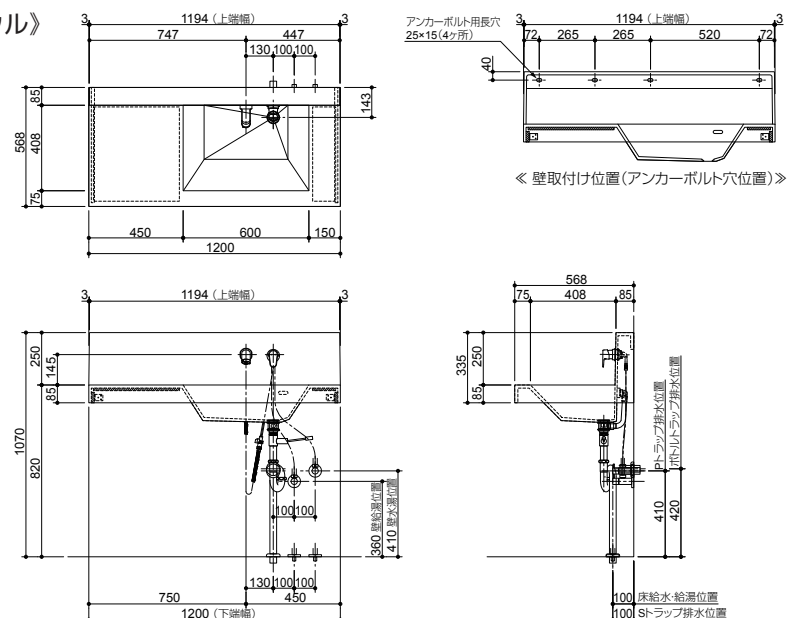
《W900 センターボウル》



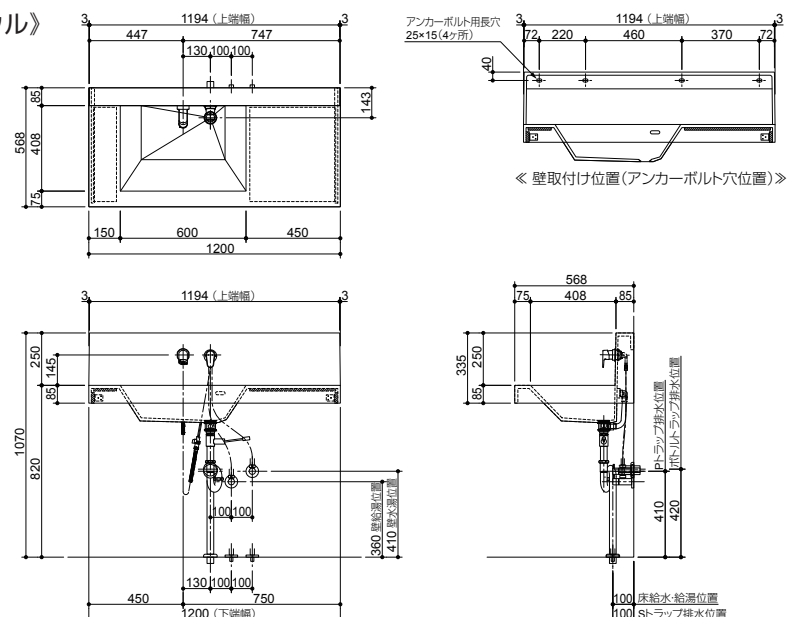
《W1200 センターボウル》



《W1200 右ボウル》



《W1200 左ボウル》



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

● お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

